MES-CG18-600-10

＊＊２０２１年 ２ 月（第７版）
＊２０２０年１０月（第６版）

製造販売届出番号：13B1X00306N10284

器０１　手術台及び治療台
一般医療機器　　汎用電動式手術台　(36867020)

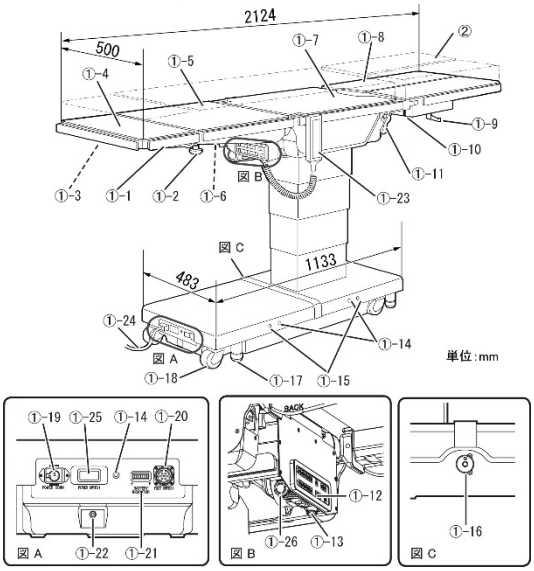
特定保守管理医療機器

手術台 ＭＯＴ－ＶＳ６００Ｄｊ

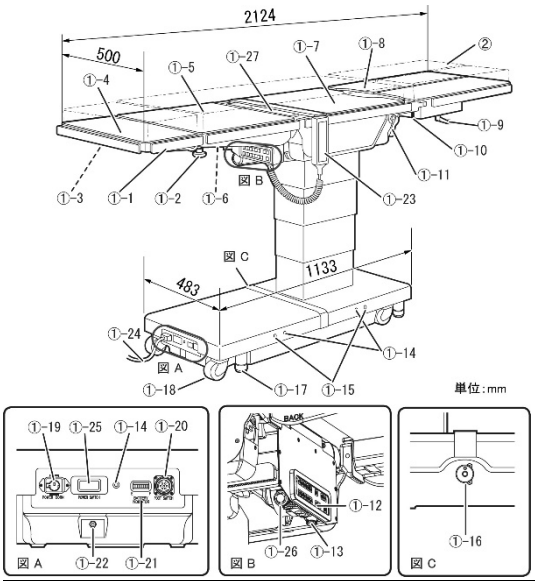
【警告】
1．患者の任意の体位を確保するためにテーブルトップを屈折又はアクセサリーで支持するときは、常に患者の状態を監視すること。[長時間の体位は神経麻痺や褥瘡の原因になります。]
2．他社製アクセサリー等を取り付けて使用するときは、ご購入店又は弊社に相談すること。[手術台のサイドレール又は差込孔寸法が異なると装着できません。]

＊＊
＊【禁忌・禁止】
1．手術台の移動及び設置
1-1 凹凸のある床面に設置しないこと。
1-2 位置を高くするために、手術台の下に当て物をいれないこと。[転倒又はけがをするおそれがあります。]
1-3 患者を乗せた状態でブレーキ解除しないこと。[患者が転落するおそれがあります。]
1-4 頭部板や脚板を引いて手術台を移動しないこと。[落下して破損又はけがをするおそれがあります。]
2．電源コードの取扱い
電源コードの上に重量物を置いたり、キャスター付の機器で乗り越えたりしないこと。[電源コードが破損して火災又は感電事故を起こすおそれがあります。]
3．テーブルトップの手動操作部
3-1 頭部板や脚板の上に乗ったり座ったりしないこと。[転倒又は破損するおそれがあります。]
3-2 患者を手術台から移し替えるとき、又は患者の体位を変えるときは、頭部板又は脚板に無理な力を加えないこと。[頭部板又は脚板が破損するおそれがあります。]
4．手術台に患者を乗せるとき
4-1 患者逆乗せ対応のアクセサリーを装着して頭部側と脚部側を逆にして患者を乗せる場合は、135 kgを超える患者を乗せないこと。[患者が転落するおそれがあります。]
4-2 通常のダブル脚板装着時は頭部側と脚部側を逆にして患者を乗せないこと。[頭部板又は脚板が破損するおそれがあります。]

＊【形状・構造及び原理等】
1．外観図
①手術台　②付属品
Ⅰ：ＶＳ６００Ｄシリーズ



Ⅱ：ＶＳ６００ＤＫシリーズ



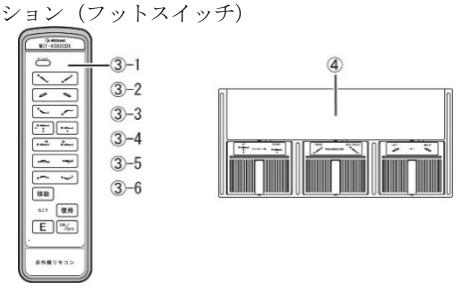
商品コード	商品名	構成
18-600-10	ＭＯＴ－ＶＳ６００Ｄｊ	Ⅰ-①、②
18-610-10	ＭＯＴ－ＶＳ６００ＤＨｊ	Ⅰ-①、②
18-620-10	ＭＯＴ－ＶＳ６００ＤＫｊ	Ⅱ-①、②
18-630-10	ＭＯＴ－ＶＳ６００ＤＨＫｊ	Ⅱ-①、②
18-045-01	電源コード １．(4.5m)	①-24

取扱説明書を必ずご参照ください。

①-1	サイドレール	①-15	パワーランプ
①-2	頭部板固定ハンドル	①-16	非常用ブレーキ解除ハンドル
①-3	頭部板屈折レバー	①-17	ブレーキ
①-4	頭部板	①-18	キャスター
①-5	背板	①-19	電源用コネクタ
①-6	背板差込レバー	①-20	フットスイッチコネクタ
①-7	腰板	①-21	バッテリーインジケータ
①-8	脚板	①-22	等電位化端子
①-9	脚板展開ハンドル	①-23	操作ボックス
①-10	脚板着脱レバー	①-24	電源コード
①-11	脚板屈折レバー	①-25	電源用スイッチ
①-12	予備スイッチ	①-26	緊急停止スイッチ
①-13	操作ボックスコネクタ	①-27	挙上板
①-14	コードレス 操作ボックス受光部	②	ＭＯＰマットレス

注１：番号は１．**外観図** ①手術台 ②付属品の番号に対応
注２：テーブルトップとは①-4、5、7、8、27 の総称

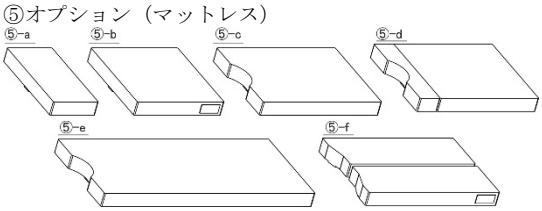
③オプション（コードレス操作ボックス）
④オプション（フットスイッチ）



商品コード	商品名	構成
18-043-53	VS600D シリーズ用コードレス操作ボックスＡ	③-1
18-043-54	VS600D シリーズ用コードレス操作ボックスＢ	③-2
18-043-55	VS600D シリーズ用コードレス操作ボックスＣ	③-3
18-043-56	VS600DK シリーズ用コードレス操作ボックスＡ	③-4
18-043-57	VS600DK シリーズ用コードレス操作ボックスＢ	③-5
18-043-58	VS600DK シリーズ用コードレス操作ボックスＣ	③-6
18-443-50	フットスイッチＡタイプ	④

注３：番号は１．**外観図** ③オプション(コードレス操作ボックス)④オプション(フットスイッチ)の番号に対応

⑤オプション（マットレス）



商品コード	商品名	構成
08-055-90	ミズホオリジナルマットレス 背板腰板分割Ａ	⑤-b, c
08-055-91	ミズホオリジナルマットレス 背板腰板分割Ａ-２	⑤-b, d
08-055-92	ミズホオリジナルマットレス Ａセット タグ無し 注５	⑤-a, e, f
18-042-00	ミズホオリジナルマットレス 頭板 タイプＡ	⑤-a
18-042-10	ミズホオリジナルマットレス 背板 タイプＡ	⑤-b
18-042-20	ミズホオリジナルマットレス 腰板 タイプＡ	⑤-c
18-042-21	ミズホオリジナルマットレス 腰板 タイプＢ	⑤-d
18-042-40	ミズホオリジナルマットレス 背板・腰板 タイプＡ	⑤-e
18-042-50	ミズホオリジナルマットレス ダブル脚板 タイプＡ	⑤-f

注４:番号は１．**外観図** ⑤オプション(マットレス)の番号に対応
注５：08-055-92 は図⑤-f のタグ無し

２．質量

本体：390kg（18-600-10）
　　：400kg（18-610-10・18-620-10）
　　：410kg（18-630-10）

３．電気的定格

定格電源電圧	：AC100-240Ｖ
定格電源周波数	：50-60Hz
電源入力	：450VA
バッテリー電源電圧	：DC24V
バッテリー連続作動時間	：充電満了後、約 40 分（注）
バッテリー充電時間	：最長 10 時間（注）

注：使用条件により変わります。

４．機器の分類（JIS T 0601-1:2017）

電撃に対する保護の形式による分類：クラスＩ機器
電撃に対する保護の程度による装着部の分類：Ｂ形装着部
水の有害な侵入に対する保護の程度の分類：ＩＰＸ４
本製品はＥＭＣ規格 JIS T 0601-1-2：2018 に適合

５．使用環境

周囲温度範囲：10℃～40℃
相対湿度範囲：30％～75％
気圧範囲　　：700hPa～1060hPa

６．機能

電動

①	昇降範囲	最高位	：1060㎜ （18-610-10, 18-630-10） ：1000㎜ （18-600-10, 18-620-10）
		最低位	：580㎜ （18-610-10, 18-630-10） ：520㎜ （18-600-10, 18-620-10）
②	縦転角度	頭上がり	：30°
		頭下がり	：40°
③	横転角度	右下がり	：35°
		左下がり	：35°
④	背板屈折角度	上がり	：90°
		下がり	：40°
⑤	スライド量	頭方向	：250 ㎜
		脚方向	：415 ㎜
⑥	フレックス	フレックス／リフレックス	
⑦	挙上器	最高位	：150 ㎜ （18-620-10, 18-630-10）
⑧	自動水平復帰	縦転／横転／背板屈折／フレックス／挙上	
⑨	ブレーキ	固定／解除	
⑩	操作機器	操作ボックス／予備スイッチ／コードレス操作ボックス(注)／フットスイッチ(注) 注:オプション	

手動

①	頭部板屈折角度	上がり	：60°
		下がり	：90°
②	脚板屈折角度	下がり	：90°
③	脚板展開角度	第一関節中心：左右各 50°	
		第二関節中心：左右各 40°	
④	取り外し	頭部板／背板／脚板(左右)	
⑤	その他の手動機能	非常用ブレーキ解除ハンドル	

７．作動原理

電動油圧手術台は、オイルタンク・ポンプモーター・バルブ・シリンダー等の油圧機器で構成しています。
操作ボックスのコントロールによりポンプモーターが作動し、オイルタンクの作動油を作動する機能のバルブを介してシリンダーへ送ります。
シリンダーが作動すると、シリンダーと連動している手術台の機械部分が作動するので手術台が作動します。
シリンダー内の作動油が限界に達すると、シリンダーの動きは停止して手術台の作動が停止します。

取扱説明書を必ずご参照ください。

【使用目的又は効果】

本品は、手術が必要な部位の大部分に適応するよう改良された完全移動型手術台（汎用）であり、コンセント電源式・電池電源式の併用式のものです。

＊【使用方法等】

詳細な使用方法は取扱説明書をご参照ください。

１．電源の入れ方（使用前）

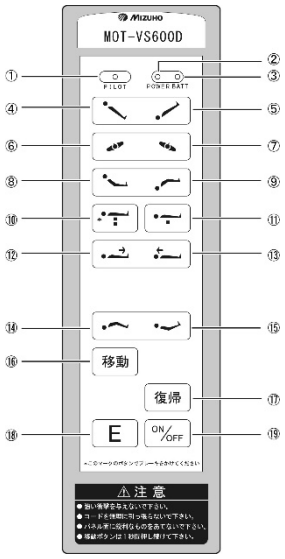
1-1 電源コードを電源用コネクタと医用コンセントに差し込みます。

1-2 手術台本体の電源用スイッチを ON にします。電源用スイッチ(緑)とバッテリーインジケータが点灯します。

1-3 操作ボックスの電源 ON/OFF スイッチを押します。操作ボックスのパワーランプ(緑)が点灯して電源が入ります。
(バッテリー使用時は操作ボックスのバッテリーランプも点灯します。)
(注) 消費電力軽減のため ON/OFF 機能が作動し、電源が OFF になっている場合は、電源を入れてください。

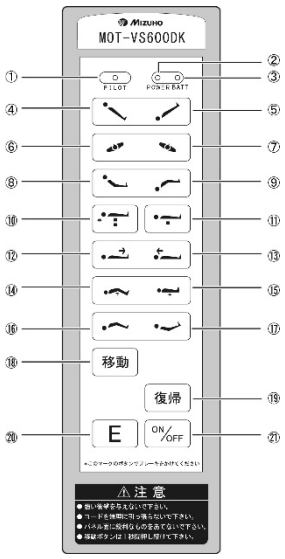
２．操作ボックスの使い方（使用中）

操作ボックスはＥスイッチを押しながら機能スイッチを押します。スイッチを押している間は機能が作動し、離すと停止します。各機能は最大限に達すると作動が停止します。



① パイロットランプ
② パワーランプ
③ バッテリーランプ
④ 縦転　　：頭上がり
⑤ 縦転　　：頭下がり
⑥ 横転　　：左下がり
⑦ 横転　　：右下がり
⑧ 背板屈折：上がり
⑨ 背板屈折：下がり
⑩ 昇降　　：上昇
（手術台固定）
⑪ 昇降　　：下降
⑫ スライド：脚方向
⑬ スライド：頭方向
⑭ フレックス
⑮ リフレックス
⑯ ブレーキ解除
⑰ 水平復帰
⑱ E スイッチ
⑲ 電源 ON/OFF スイッチ

図 2-1：操作ボックス（18-600-10・18-610-10 用）



① パイロットランプ
② パワーランプ
③ バッテリーランプ
④ 縦転　　：頭上がり
⑤ 縦転　　：頭下がり
⑥ 横転　　：左下がり
⑦ 横転　　：右下がり
⑧ 背板屈折：上がり
⑨ 背板屈折：下がり
⑩ 昇降　　：上昇
（手術台固定）
⑪ 昇降　　：下降
⑫ スライド：脚方向
⑬ スライド：頭方向
⑭ 挙上器　：上昇
⑮ 挙上器　：下降
⑯ フレックス
⑰ リフレックス
⑱ ブレーキ解除
⑲ 水平復帰
⑳ E スイッチ
㉑ 電源 ON/OFF スイッチ

図 2-2：操作ボックス（18-620-10・18-630-10 用）

３．電源の切り方（使用後）

電源が入っている状態で、操作ボックスの電源 ON/OFF スイッチを押します。操作ボックスのパワーランプ（緑）とバッテリーランプ（橙）が消灯して電源が切れます。

４．バッテリー充電のしかた

4-1 操作ボックスの表示を確認します。バッテリーランプ(橙)が点滅したら充電が必要です。又は手術台本体のバッテリーインジケータを確認します。バッテリーインジケータの赤が点灯したら充電が必要です。

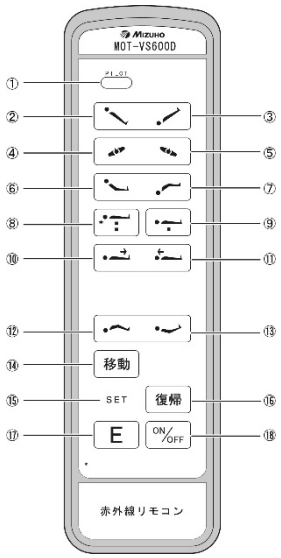
4-2 電源コードを電源用コネクタと医用コンセントに差し込みます。

4-3 電源用スイッチを ON にします。充電中はバッテリーインジケータの橙が順に点灯して充電状態をお知らせします。

4-4 バッテリーインジケータの橙と緑の表示がすべて点灯すると充電は完了です。

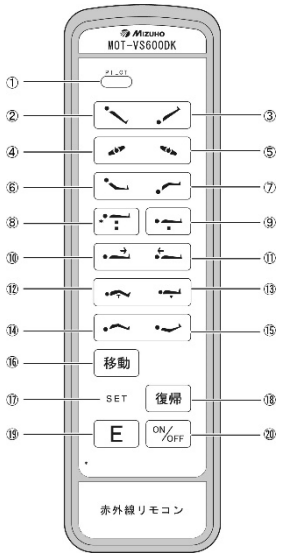
５．コードレス操作ボックスの使い方（オプション）

コードレス操作ボックスは手術台下部のコードレス操作ボックス受光部に向けて操作をします。Ｅスイッチを押しながら機能スイッチを押します。スイッチを押している間は機能が作動し、離すと停止します。各機能は最大限に達すると作動が停止します。



① パイロットランプ
② 縦転　　：頭上がり
③ 縦転　　：頭下がり
④ 横転　　：左下がり
⑤ 横転　　：右下がり
⑥ 背板屈折：上がり
⑦ 背板屈折：下がり
⑧ 昇降　　：上昇
（手術台固定）
⑨ 昇降　　：下降
⑩ スライド：脚方向
⑪ スライド：頭方向
⑫ フレックス
⑬ リフレックス
⑭ ブレーキ解除
⑮ セットスイッチ
⑯ 水平復帰
⑰ E スイッチ
⑱ 電源 ON/OFF スイッチ

図 5-1：コードレス操作ボックス(18-043-53)



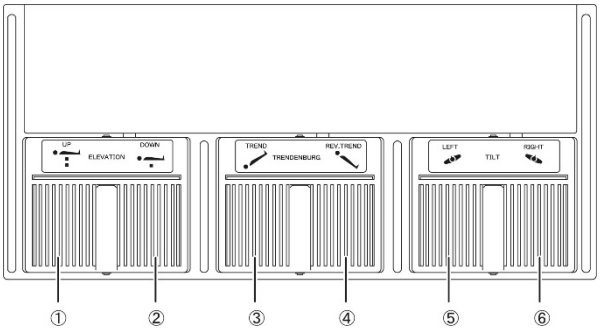
① パイロットランプ
② 縦転　　：頭上がり
③ 縦転　　：頭下がり
④ 横転　　：左下がり
⑤ 横転　　：右下がり
⑥ 背板屈折：上がり
⑦ 背板屈折：下がり
⑧ 昇降　　：上昇
（手術台固定）
⑨ 昇降　　：下降
⑩ スライド：脚方向
⑪ スライド：頭方向
⑫ 挙上器　：上昇
⑬ 挙上器　：下降
⑭ フレックス
⑮ リフレックス
⑯ ブレーキ解除
⑰ セットスイッチ
⑱ 水平復帰
⑲ E スイッチ
⑳ 電源 ON/OFF スイッチ

図 5-2：コードレス操作ボックス(18-043-56)

取扱説明書を必ずご参照ください。

6．フットスイッチ（オプション）

フットスイッチは機能スイッチを押します（踏む）。スイッチを押す（踏む）間は機能が作動し、離すと停止します。各機能は最大限に達すると作動が停止します。（図 6）



① 昇降：上昇　③ 縦転：頭下がり　⑤ 横転：左下がり
② 昇降：下降　④ 縦転：頭上がり　⑥ 横転：右下がり

図 6：フットスイッチ A タイプ(18-443-50)

＊【使用上の注意】

詳細な注意事項は取扱説明書をご参照ください。

1．重要な基本的注意

① 締結部の固定は必ず確認してください。ゆるんだ状態では機器が動いたり、外れたりして、患者に障害がおきるおそれがあります。

② 併用する機器やアクセサリーを使用するときは、当該機器の添付文書及び取扱説明書を読んで影響を確認してください。誤った使用方法は患者･操作者及び手術台･併用する機器やアクセサリーに悪影響を及ぼします。

③ 患者を固定するベルトを締めるときは、必ず背板差込レバーに接触しない状態で締めてください。背板差込レバーに接触した状態で締めると、差込レバーが押されて背板が外れることがあります。

2．その他の注意

① 衛生のため、患者が手術台に触れる部分には必ず滅菌済ドレープを使用してください。

② 併用する他の医用電気機器から電磁的影響による誤作動が発生するおそれがあります。

③ 手術台の操作中や屈折操作中に背板と腰板の隙間に手を入れないでください。怪我をするおそれがあります。

④ 非常用ブレーキ解除ハンドルを回したら、必ず下記の操作を行ってください。手術台を固定できません。

④-1 非常用ブレーキ解除ハンドルを LOCK 方向に回す。

④-2 操作ボックスでブレーキ解除の操作を実施する。

⑤ 非常用ブレーキ解除ハンドルが UNLOCK の状態で、縦転･横転などの機能を操作しないでください。テーブルトップが作動して、患者が転落するおそれがあります。

⑥ 使用条件によりバッテリーの寿命は大きく変わります。短時間使用で頻繁に充放電が繰り返されるとバッテリーの劣化が早まる可能性がありますので週 1 回充電（週末の充電）を行ってください。

充電満了まで最長で 10 時間程度掛かります。

⑦ 操作ボックスのバッテリーランプが点滅している場合、又は手術台下部のバッテリーインジケータの赤が点灯している場合は、直ちに充電してください。

充電不足になると AC 電源でご使用は頂けますが、バッテリー電源でのご使用はできなくなります。

【保管方法及び有効期間等】

1．保管環境

周囲温度範囲　：-10℃～50℃
相対湿度範囲　：10%～85%（結露なし）
気圧範囲　　：700hPa～1060hPa

2．耐用期間

指定した保守点検及び適切な保管をした場合：10 年（注）
［自己認証（弊社データ）による］

注:耐用期間内であっても、使用状況又は使用頻度により、突発的な故障、部品（マットレスも含む）の著しい消耗・劣化・破損等を生じた場合は該当部品の交換が必要です。
但し、一般市販品の部品については、製造元の事情（製造期間終了・製造中止等）により、耐用期間内であっても部品供給による交換ができなくなる場合があります。

3．定期交換部品

部品名	交換時期(注)
バッテリー	２年
操作ボックス	４～６年
キャスター	５～７年
ブレーキゴム	３～５年
電源コード	５～７年

注:上記は目安の期間です。
使用条件により交換時期が変わります。

【保守・点検に係る事項】

＜使用者による保守点検事項＞

使用者は手術台の使用前・使用後に必ず下記点検事項及び清掃・消毒を実施してください。

1．使用前の点検事項

① マットレス
すべてのマットレスに破損がないか。

② テーブル板
すべてのテーブル板に破損がないか。

③ 油漏れ
床又は手術台に作動油が付着していないか。

④ 電源コード及び電源プラグ
電源コード導線の露出又は電源プラグの破損がないか。

⑤ バッテリー充電状態
バッテリーは充電された状態か。

⑥ 電源 ON/OFF スイッチ
操作ボックスの電源 ON/OFF スイッチを押して、操作ボックス及びベースのパワーランプが点灯するか。

⑦ 操作ボックス及び予備スイッチ
操作ボックス及び予備スイッチのスイッチを押して、すべての機能が正常に作動するか。

⑧ テーブルトップのガタ
背板両端を持って上下左右に揺すったときにガタがないか。

2．使用後の点検事項

① マットレス
すべてのマットレスに破損又は汚れがないか。

② テーブル板
すべてのテーブル板に破損又は汚れがないか。

③ 油漏れ
床又は手術台に作動油が付着していないか。

3．清掃・消毒の手順

3-1 電源を切り、電源コードを医用コンセントから外してください。

3-2 使用する消毒剤の表示又は説明書の内容を確認してください。

3-3 血液・薬剤・汚物等の汚れを水で拭き取り、消毒剤を浸したガーゼ等で清拭してください。

4．故障時のお願い

本装置が故障したと思われるときは下記の処置を行い、ご購入店又は弊社に連絡してください。

4-1 電源を切り、電源コードを医用コンセトから外してください。

4-2 本装置に「故障」・「使用禁止」・「修理必要」等の適切な表示をしてください。

取扱説明書を必ずご参照ください。

＜業者による保守点検事項＞

本装置を安全に使用するために、弊社及び弊社が認めた業者による年１回の定期点検を実施してください。それ以外の業者による保守点検は、有害事象の発生、性能・機能の低下を招くおそれがあります。定期点検をご希望される場合は、ご購入店又は弊社にお問い合わせください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：ミズホ株式会社
TEL 03(3815)3097

製造業者：ミズホ株式会社　千葉工場

【保証期間に係る事項】

本品は納品/設置してから１年間を保証期間として無償修理いたします。但し第三者が修理した場合、天災による破損、不適切な使用、あるいは故意による破損は除きます。その他保証条件は弊社規定に依ります。

取扱説明書を必ずご参照ください。